

令和元年度調査報告書の作成に係るアンケート集計結果

1 令和元年度の調査内容について

(1) PM2.5 成分調査点数

一般局	自排局	臨時局	合 計
27	4	0	31

(2) 各分析項目の実施地点数

【水溶性イオン成分】

SO ₄ ²⁻	NO ₃ ⁻	Cl ⁻	Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Mg ²⁺	NH ₄ ⁺
31	31	31	31	31	31	31	31

【無機元素成分】

Na	Al	Si*	K	Ca	Sc	Ti*	V	Cr	Mn*	Fe
31	31	20	31	31	31	31	31	31	31	31
Co*	Ni	Cu*	Zn	As	Se*	Rb*	Mo*	Sb	Cs*	Ba*
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
La*	Ce*	Sm*	Hf*	W*	Ta*	Th*	Pb			
31	31	31	31	31	31	31	31			

* 実施推奨項目

【炭素成分】

OC1	OC2	OC3	OC4	EC1	EC2	EC3	OCpyro	WSOC
31	31	31	31	31	31	31	31	13

【その他成分】

レボグルコサン	カドミウム	ベリリウム	スズ
6	5	1	3
シュウ酸	マグネシウム		
3	3		

2 令和元年度の調査報告書について

(1) 執筆分担について

本 編		希望欄	資料編	希望欄
1 はじめに			1 試料採取要領	
2 調査方法			2 測定方法及び下限	①静岡市
3 各季節概況	各季節の気象概況	①相模原市②茨城県、静岡県	3 調査地点の概況	
	3.1～3.4 春季～冬季のいずれか	①埼玉県、長野県、静岡県	4 気象要素の測定地点	本編 3 章気象概況担当者
	3.5 四季の比較	①浜松市 ③茨城県、静岡県、横浜市		
4 高濃度状況	4.1 出現状況	①茨城県②群馬県、神奈川県 ③千葉市	5 高濃度解析対象地点	本編 4.1 担当者
	4.2、4.3 詳細解析	①栃木県、千葉市、横浜市 ②栃木県、横浜市	6 精度管理結果	前年度幹事県
5 発生源寄与の推定		①千葉県、山梨県、さいたま市	7 発表及び投稿一覧	
6 総括				

光化学オキシダント調査事業	希望欄
解析調査	①群馬県、神奈川県、川崎市 ②千葉市

(2) 令和元年度の調査報告書についてのご意見

- ・光化学オキシダント調査事業は、Ⅱ型共同研究の参加自治体を中心に、複数の自治体で担当したほうがよいと思う。(千葉市)

(3) その他のご意見

- ・光化学オキシダントに関する観測やデータ解析の実施については、直接関わる自治体だけでなく、調査会議全体で情報や認識を共有し、コンセンサスを形成しながら進めていただけたらと思います。

Ⅱ型共同研究とシェアする部分はあつてよいと思いますが、本調査会議として行う意義が見えなくならないようにしていただけたらと思います。(埼玉県)

- ・COVID-19 の感染リスクを考慮すると、今年度は従来のように 50 人規模が集まって年 4 回の会議を行うことは、避けた方がよいと思われます。参加人数を最小限に絞った開催や第 1 回会議で予定されている書面開催、または web 会議の利用等を検討いただければと思います。(千葉県)